



2025年3月期 第1四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2024年7月29日

上場会社名 株式会社 小松製作所 上場取引所 東
コード番号 6301 URL <https://www.komatsu.jp/ja>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 啓之
問合せ先責任者 (役職名) サステナビリティ推進本部 (氏名) 成本 明宏 TEL 03-6849-9703
コーポレートコミュニケーション部長
四半期決算補足説明資料作成の有無：有 配当支払開始予定日 ー
四半期決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	959,837	6.7	156,993	6.8	150,544	1.6	109,737	4.1
2024年3月期第1四半期	899,551	17.8	147,021	57.1	148,168	31.7	105,427	31.0

(注) 四半期包括利益 2025年3月期第1四半期 288,212百万円 (7.8%) 2024年3月期第1四半期 267,383百万円 (△4.7%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	116.48	116.47
2024年3月期第1四半期	111.49	111.48

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	6,037,859	3,333,416	3,159,284	52.3	3,383.54
2024年3月期	5,636,656	3,198,452	3,033,569	53.8	3,206.80

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	72.00	—	95.00	167.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	83.00	—	84.00	167.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,861,000	△0.1	557,000	△8.3	518,000	△10.0	347,000	△11.8	366.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2024年4月26日開催の取締役会において、自己株式の取得及び消却について決議しましたが、連結業績予想の「1株当たり当社株主に帰属する当期純利益」については、その影響を考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 〇社 (社名)、 除外 〇社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期1Q	973,810,620株	2024年3月期	973,810,620株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2025年3月期1Q	40,088,237株	2024年3月期	27,829,452株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2025年3月期1Q	941,241,218株	2024年3月期1Q	944,812,310株
------------	--------------	------------	--------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのことをあらかじめご理解下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動、及び国内外の各種規制並びに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 6
(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更	P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 6
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 11
(5) セグメント情報	P. 11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツは、2025年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「DANTOTSU Value – Together, to “The Next” for sustainable growth」において、①イノベーションによる成長の加速、②稼ぐ力の最大化、③レジリエントな企業体質の構築を成長戦略の3本柱として掲げ、収益向上とESG課題解決の好循環による持続的成長を目指すサステナビリティ経営を引き続き重視し、需要変動に左右されにくい事業構造の構築に向け、活動を進めています。

本中期経営計画の最終年となる2025年3月期の第1四半期（2024年4月1日から2024年6月30日まで）において、連結売上高は9,598億円（前年同期比6.7%増加）となりました。建設機械・車両部門では、一般建機の売上げは減少したものの、鉱山機械の売上げが、アジア以外の地域にて堅調に推移しました。加えて、円安及び各地域での販売価格の改善の影響などにより、売上高は前年同期を上回りました。産業機械他部門では、自動車産業向けの大型プレスの販売増加と半導体産業向けエキシマレーザー関連事業でのメンテナンス売上げ増加などにより、売上高は前年同期を上回りました。

利益については、建設機械・車両部門の販売量減少などの影響はあるものの、円安の影響や各地域での販売価格の改善により、営業利益は1,570億円（前年同期比6.8%増加）となりました。売上高営業利益率は前年同期を0.1ポイント上回る16.4%、税引前四半期純利益は1,505億円（前年同期比1.6%増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は1,097億円（前年同期比4.1%増加）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 136.4円 1ユーロ = 147.7円 1豪ドル = 89.9円	当第1四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 155.5円 1ユーロ = 167.5円 1豪ドル = 101.9円	増減率 % [(B-A)/A]
売上高	899,551	959,837	6.7%
建設機械・車両	846,861	894,313	5.6%
リテールファイナンス	22,893	30,486	33.2%
産業機械他	40,452	45,540	12.6%
消去	△10,655	△10,502	—
セグメント利益	146,808	156,560	6.6%
建設機械・車両	138,430	142,272	2.8%
リテールファイナンス	6,348	7,646	20.4%
産業機械他	1,924	5,020	160.9%
消去又は全社	106	1,622	—
営業利益	147,021	156,993	6.8%
税引前四半期純利益	148,168	150,544	1.6%
当社株主に帰属する四半期純利益	105,427	109,737	4.1%

（注）セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

[建設機械・車両]

建設機械・車両部門の売上高は8,943億円（前年同期比5.6%増加）、セグメント利益は1,423億円（前年同期比2.8%増加）となりました。

自動化・自律化・遠隔操作化に向けた取り組みにおいては、鉱山向け無人ダンプトラック運行システム（AHS）の導入を着実に進め、本年6月末時点の累計導入台数は754台となりました。また、本年4月より、日本市場にて、事務所などの安全・快適な環境から複数の現場の油圧ショベルを切り替えて遠隔操作できるシステム「Smart Construction Teleoperation」の販売を開始しました。

電動化に向けた取り組みにおいては、本年4月にフランスのパリで開催された建設機械の展示会「INTERMAT」にて、今後、欧州市場への導入を予定している2トンクラスの電動ミニショベルのプロトタイプを展示しました。また、電動化建機向けの給電ソリューションの実現に向け、水素混焼エンジンを用いた可搬式の発電機のコンセプト機を開発しました。

重点活動の一つである坑内掘りハードロック事業の拡大に向けた取り組みにおいては、小型のジャンボドリル「ZJ21」とボルター「ZB21」の2機種について、バッテリー式電動車仕様を発表しました。また、本年7月1日にドイツの坑内掘り鉱山機械メーカーであるGHH Group GmbHの買収を完了しました。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第1四半期 連結累計期間 [A]	当第1四半期 連結累計期間 [B]	増減	
			金額 [B-A]	増減率 % [(B-A)/A]
日本	73,036	70,592	△2,444	△3.3%
北米	232,519	261,483	28,964	12.5%
中南米	146,849	165,688	18,839	12.8%
米州	379,368	427,171	47,803	12.6%
欧州	80,458	73,607	△6,851	△8.5%
CIS	25,663	14,242	△11,421	△44.5%
欧州・CIS	106,121	87,849	△18,272	△17.2%
中国	15,411	22,555	7,144	46.4%
アジア※	109,884	97,969	△11,915	△10.8%
オセアニア	91,737	103,134	11,397	12.4%
アジア※・オセアニア	201,621	201,103	△518	△0.3%
中近東	20,895	27,744	6,849	32.8%
アフリカ	45,787	54,261	8,474	18.5%
中近東・アフリカ	66,682	82,005	15,323	23.0%
合計	842,239	891,275	49,036	5.8%

※ 日本及び中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

日本では、レンタル向けの新車需要が減少したものの、販売価格の改善などの影響もあり、売上高は前年同期並みに推移しました。

<米州>

北米では、一般建機の需要は、レンタル、エネルギー関連向けが減少したものの、インフラ向けは堅調に推移しました。売上高は、鉱山機械の販売増加や、円安、販売価格の改善の影響などにより、前年同期を上回りました。

中南米では、経済の先行き不透明感などにより、一般建機の需要が減少したものの、鉱山機械の販売増加や、円安、販売価格の改善の影響などにより、売上高は前年同期を上回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、金利やエネルギー価格の高止まりの影響で、主要市場であるドイツ、英国のほか、イタリアなどを中心に一般建機の需要が減少したことから、売上高は前年同期を下回りました。

CISでは、ウクライナ情勢に起因したサプライチェーン及び金融・経済の制約の影響から、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

<中国>

中国では、不動産市況の低迷などに起因した経済活動の停滞はあるものの、主に部品の売上げが増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、最大市場のインドネシアにて鉱山機械の販売が減少し、一般建機も公共事業の予算執行の滞りなどにより需要が減少したことから、売上高は前年同期を下回りました。

オセアニアでは、一般建機の需要は減少したものの、円安の影響や鉱山機械の部品・サービス売上げが増加したこともあり、売上高は前年同期を上回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、一般建機の需要は減少したものの、UAEやエジプトでのプロジェクトなどにより販売が増加し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

アフリカでは、鉱山機械の販売増加や、円安の影響により売上高は前年同期を上回りました。

[リテールファイナンス]

リテールファイナンス部門では、円安や受取金利率の上昇、金融債権の増加などにより、売上高は305億円（前年同期比33.2%増加）、セグメント利益は76億円（前年同期比20.4%増加）となりました。

[産業機械他]

産業機械他部門では、自動車産業向けの大型プレスの販売増加や、半導体産業向けエキシマレーザー関連事業でのメンテナンス売上げ増加などにより、売上高は455億円（前年同期比12.6%増加）、セグメント利益は50億円（前年同期比160.9%増加）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<財政状態>

当第1四半期連結会計期間末は、米ドルなどに対して為替が前期末に比べ円安となったことに加え、棚卸資産などの増加により、総資産は前期末に比べ4,012億円増加の6兆379億円となりました。有利子負債残高は、前期末に比べ2,295億円増加の1兆4,289億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ1,257億円増加の3兆1,593億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ1.5ポイント減少の52.3%となりました。

<キャッシュ・フロー>

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産が増加したものの、四半期純利益などにより、839億円の収入（前年同期比15億円の収入減少）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、410億円の支出（前年同期比16億円の支出増加）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、コマーシャル・ペーパー及び借入金の増加により、120億円の収入（前年同期は62億円の収入）となりました。各キャッシュ・フローの合計に為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ687億円増加し、4,718億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

本年4月26日に公表しました2025年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更
 - ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更
該当事項はありません。

 - ②①以外の会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2024年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2024年6月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び現金同等物	403,178		471,839	
受取手形及び売掛金	1,263,542		1,274,886	
棚卸資産	1,438,695		1,596,530	
その他の流動資産	208,773		244,813	
流動資産合計	3,314,188	58.8	3,588,068	59.4
長期売上債権	688,260	12.2	761,271	12.6
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	67,325		70,761	
投資有価証券	10,267		10,879	
その他	3,975		4,150	
投資合計	81,567	1.5	85,790	1.4
有形固定資産	908,055	16.1	940,731	15.6
オペレーティングリース使用权資産	69,236	1.2	70,712	1.2
営業権	248,393	4.4	264,597	4.4
その他の無形固定資産	180,403	3.2	185,851	3.1
繰延税金及びその他の資産	146,554	2.6	140,839	2.3
資産合計	5,636,656	100.0	6,037,859	100.0

区分	前連結会計年度末 (2024年3月31日)		当第1四半期連結会計期間末 (2024年6月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
短期債務	440,619		668,861	
長期債務	140,359		170,229	
－ 1年以内期限到来分				
支払手形及び買掛金	320,312		327,072	
未払法人税等	69,638		63,574	
短期オペレーティングリース負債	19,603		20,634	
その他の流動負債	535,668		562,394	
流動負債合計	1,526,199	27.1	1,812,764	30.0
固定負債				
長期債務	618,392		589,798	
退職給付債務	87,933		80,412	
長期オペレーティングリース負債	51,441		52,404	
繰延税金及びその他の負債	154,239		169,065	
固定負債合計	912,005	16.2	891,679	14.8
負債合計	2,438,204	43.3	2,704,443	44.8
(純資産の部)				
資本金	70,336		70,336	
資本剰余金	136,500		136,956	
利益剰余金				
利益準備金	48,979		49,149	
その他の剰余金	2,367,020		2,386,679	
その他の包括利益 (△損失) 累計額	459,865		621,340	
自己株式	△49,131		△105,176	
株主資本合計	3,033,569	53.8	3,159,284	52.3
非支配持分	164,883	2.9	174,132	2.9
純資産合計	3,198,452	56.7	3,333,416	55.2
負債及び純資産合計	5,636,656	100.0	6,037,859	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

四半期連結損益計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自 2024年4月1日 至 2024年6月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	899,551	100.0	959,837	100.0
売上原価	611,241	67.9	644,282	67.1
販売費及び一般管理費	141,502	15.7	158,995	16.6
その他の営業収益	213	0.0	433	0.0
営業利益	147,021	16.3	156,993	16.4
その他の収益 (△費用)				
受取利息及び配当金	4,487	0.5	7,033	0.7
支払利息	△11,960	△1.3	△15,412	△1.6
その他 (純額)	8,620	1.0	1,930	0.2
合計	1,147	0.1	△6,449	△0.7
税引前四半期純利益	148,168	16.5	150,544	15.7
法人税等	38,683	4.3	37,496	3.9
持分法投資損益調整前四半期純利益	109,485	12.2	113,048	11.8
持分法投資損益	2,186	0.2	2,473	0.3
四半期純利益	111,671	12.4	115,521	12.0
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	6,244	0.7	5,784	0.6
当社株主に帰属する四半期純利益	105,427	11.7	109,737	11.4
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的		111.49円		116.48円
希薄化後		111.48円		116.47円

四半期連結包括利益計算書

区分	前第1四半期連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 2024年4月1日 至 2024年6月30日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
四半期純利益	111,671	115,521
その他の包括利益 (△損失) - 税控除後		
外貨換算調整勘定	156,778	173,229
年金債務調整勘定	251	334
未実現デリバティブ評価損益	△1,317	△872
合計	155,712	172,691
四半期包括利益	267,383	288,212
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益	15,537	17,000
当社株主に帰属する四半期包括利益	251,846	271,212

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第1四半期 連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日	当第1四半期 連結累計期間 自 2024年4月1日 至 2024年6月30日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	111,671	115,521
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増加(純額)への調整		
減価償却費等	37,486	40,877
法人税等繰延分	3,534	5,827
投資有価証券評価損益及び減損	△283	28
固定資産売却損益	△206	△45
固定資産廃却損	440	711
未払退職金及び退職給付債務の減少	△179	△9,980
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の減少	13,340	31,111
棚卸資産の増加	△76,652	△59,959
支払手形及び買掛金の減少	△11,001	△5,802
未払法人税等の減少	△5,356	△7,203
その他(純額)	12,637	△27,144
営業活動による現金及び現金同等物の増加(純額)	85,431	83,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△40,522	△46,288
固定資産の売却	3,164	3,739
投資有価証券等の購入	△50	△375
その他(純額)	△1,942	1,959
投資活動による現金及び現金同等物の減少(純額)	△39,350	△40,965
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	138,861	221,754
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△53,388	△104,610
満期日が3カ月以内の借入債務の増減(純額)	△2,871	48,159
自己株式の売却及び取得(純額)	△4	△56,071
配当金支払	△70,950	△89,908
その他(純額)	△5,444	△7,341
財務活動による現金及び現金同等物の増加(純額)	6,204	11,983
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	1,211	13,701
現金及び現金同等物純増加額	53,496	68,661
現金及び現金同等物期首残高	289,975	403,178
現金及び現金同等物四半期末残高	343,471	471,839

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	842,239	17,703	39,609	899,551	—	899,551
(2) セグメント間の内部売上高	4,622	5,190	843	10,655	△10,655	—
計	846,861	22,893	40,452	910,206	△10,655	899,551
セグメント利益	138,430	6,348	1,924	146,702	106	146,808

当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	891,275	23,529	45,033	959,837	—	959,837
(2) セグメント間の内部売上高	3,038	6,957	507	10,502	△10,502	—
計	894,313	30,486	45,540	970,339	△10,502	959,837
セグメント利益	142,272	7,646	5,020	154,938	1,622	156,560

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両セグメント

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、地下鉱山機械、環境リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連、ソリューションビジネス

b. リテールファイナンスセグメント

販売金融

c. 産業機械他セグメント

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、光学機械

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）及び当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・ オセアニア	中近東・ アフリカ	連結
前第1四半期連結累計期間	93,589	397,229	112,237	18,632	210,950	66,914	899,551
当第1四半期連結累計期間	93,618	449,200	93,499	27,994	212,510	83,016	959,837

※ 日本及び中国を除きます。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。